

事務事業名	みんなで進めるむらづくり事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	市民の誇りとなる対話と協調の都市づくり(自治・都市づくり)	担当課名	農政課
施策体系	市民意識がいきづく地域コミュニティの育成	担当係名	農政係
施策	コミュニティ施設を充実する		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	農村コミュニティ活動を促進し、活力とるおいのある農村の創造を目指す。		
事業の期間(開始/終了)	平成17年 9月/	平成20年 3月	
根拠法令、条例、規則など	みんなで進めるむらづくり事業実施要領 みんなで進めるむらづくり事業補助金交付要項		
事業が対象としている人(モノ)	集会施設(ふるさとコミュニティセンター)	江川新宿集落	
具体的な活動内容	計画策定事業(みんなで進めるむらづくり計画の作成)		
	推進事業(対象集落の推進体制の整備)		
	整備事業(集会施設,生活環境等の整備)		
	実践活動事業(郷土芸能等の保存伝承活動,環境美化活動)		
事業の成果	計画書作成をした		
	住民同士のコミュニケーション機会を増やし、連帯感を強め住民活動を活性化させることにより、生活環境等の向上を促進し、活力ある農業、農村の振興を図る。		

2. 事業の評価

項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 集落センターを整備することにより、豊かな自然環境の保全、美しい景観の形成、伝統文化の継承などの農村コミュニティ活動が活発化される。住民が自由に使用できる集会施設がないことは、住民の共同活動等に大きな影響を与える恐れがある。
	5 行政以外にはできない事業である みんなで進めるむらづくり事業実施要領に基づく県の事業である為、行政以外では実施できないと思われる。
公平性	3 どちらとも言えない 主に集落で使用する集会施設のため、対象となる集落に対しては多大な便益が提供されると思われる。
適切性	2 現在のやり方(手段)には、やや問題がある みんなで進めるむらづくり事業以外に集会施設の整備に対する補助事業がない為、やや問題があると思われる。
	4 概ね目標水準に達している 住民同士のコミュニケーション機会を増やし、連帯感を強め住民活動を活性化させることにより、生活環境等の向上を促進し、活力ある農業、農村の振興を図る。
効率性	3 どちらとも言えない 周辺の地区に同様の集会施設が点在する為、当初予定していた利用率が確保できない恐れがある。

総合評価	農村地域の生産・文化活動を支援できる総合的な集落の拠点施設を整備することは、総合的な農村社会活性化を図る為の施策として有効だと思われる。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	統合	中長期的方向	維持継続
	説明	現在、この地域は霞ヶ浦用水事業を活用した「江川新宿地区畑地世帯総合整備事業」を進めており、平成19年に終了予定であるが、この事業はもとより地域全体の中核施設として必要であり、地域住民のコミュニティ形成には欠かすことのできない施設であると認識するものである。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	この事業については、地元住民より強い要望があり、行政としても施設の建設について、必要性が高いと判断する。事業の進行については、地元住民と十分連携をとり継続事業を進める。			